

復興・再生に向けた行財政運営方針【概要】



位置付け

復興・再生を着実に推進していくためには、行財政運営の明確な方向性を持ちながら、様々な課題に対して迅速かつ柔軟に対応することが求められることから、復興・再生に向けた当面の行財政運営の基本的な考え方を示すもの。

概要

【基本的考え方】 財源の確保や執行体制の強化、市町村との連携強化が重要な課題となっていることから、次の3つの視点に重点を置いた柔軟な行財政運営を推進していく。

《視点1》復興を支える財源の確保と財政健全性の確保

《視点2》復興を加速させる執行体制の強化

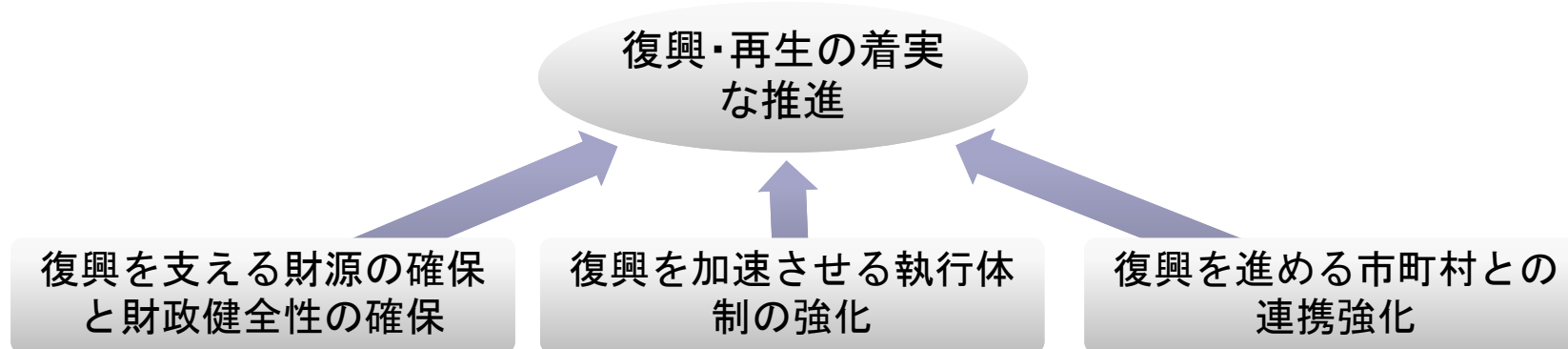
《視点3》復興を進める市町村との連携強化

【対象期間】 ○ 概ね5年間

○ 復興・再生の状況等を踏まえ、新たな行財政改革大綱の策定を検討。

【進行管理】 ○ 行財政改革推進委員会から助言をいただきながら行財政改革推進本部において進行管理。

○ 毎年度、取組の推進状況等を踏まえ点検を行い、重点的に取り組むべき課題や今後の方向性等を明確にし、必要に応じて見直しを行う。



《視点1》 復興を支える財源の確保と財政健全性の確保



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

復興・再生に向けた課題①

【歳出面】
復興・再生に向け多様な課題が
山積かつ中長期的な取組が不可欠

- ・ 除染対策
- ・ 県民の健康管理
- ・ 中小企業の復興
- ・ インフラの復旧
など

長期的かつ安定的な財源が必要

【歳入面】
今後の財源確保は予断を許さない
状況

- ・ 県税の更なる減少
- ・ 震災復興特別交付税制度の継続
など

課題解消の
基本的方向性

復興財源の
確保

取組方針

- ◆ **自主財源の確保**
 - 財源捻出等による歳入確保
 - 県税収入の確保
- ◆ **国からの復興財源確保**
 - 復興・再生を推進するための財源措置の要求
 - 新たに生ずる課題への財源確保
- ◆ **原子力損害賠償金の確保**

復興・再生に向けた課題②

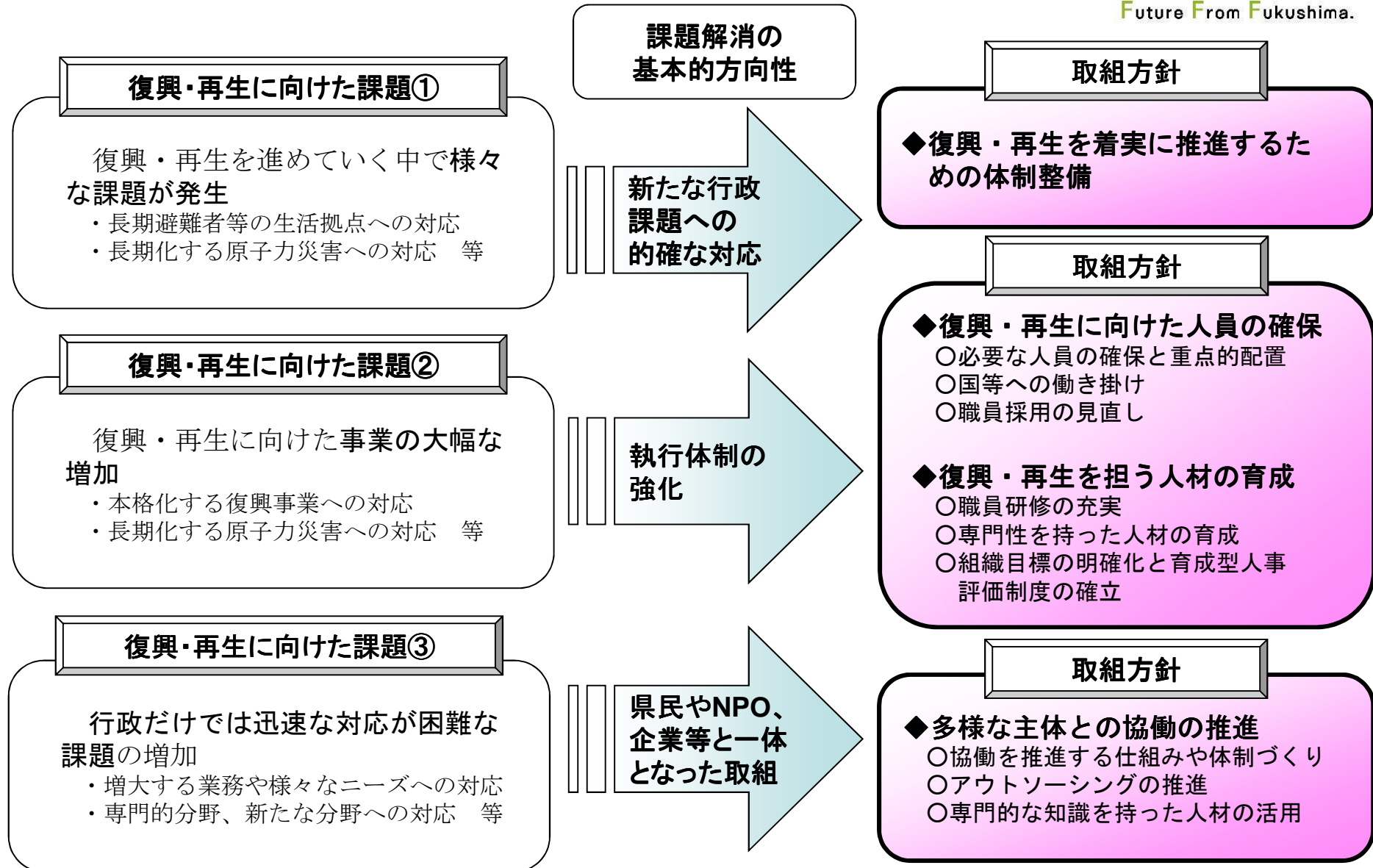
非常に厳しい財政状況にあっても、
必要な事業については適時適切に実
施しながら、将来にわたる財政健全
性を確保していく必要がある。

財政健全性の
確保

取組方針

- ◆ **財政健全性の確保に向けた
歳入・歳出両面からの徹底
した精査**

《視点2》 復興を加速させる執行体制の強化



《視点3》 復興を進める市町村との連携強化

